

書名 項目	<h1>図画工作</h1>	9 開隆堂
内 容	<p> ＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞ ・ 3つの観点の中で、重点となるめあてが強調して示してあり分かりやすい。 ・ 学習した内容が次の題材で生かされるスパイラルの単元構成になっている。 ・ 用具の安全な使い方や表現技法の説明が、題材ページや巻末に分かりやすく示されている。 </p> <p> ＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞ ・ 吹き出しを効果的に使って児童のイメージを膨らませる工夫がされている。 ・ 3つのキャラクターによる学習のポイントやアドバイスが、分かりやすく示されている。 ・ 技法の変化による表現の変化が分かりやすく示されている。 </p> <p> ＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞ ・ 多様な材料や場、表現方法が題材に取り入れられている。 ・ 他者との共同活動や関わりのある活動が多く、学び合いが意識されている。 ・ 図工の学習が身近な人々や社会と関連し広がっていくことが意識されている。(カリキュラムマネジメント) </p> <p> ＜表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実するための工夫＞ ・ 作品を紹介し合う活動により、表現と鑑賞を一体として関連させている。 ・ 作者のコメントや説明が書いてあることで、作品作りの参考として生かすことができる。 </p> <p> ＜用具の安全な取扱いについて指導するための工夫＞ ・ 用具を安全に気持ちよく使えるように写真や図で分かりやすく示している。 ・ 安全マークで危険を注意喚起し、安全な取扱いが徹底されている。 </p>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを活用して鑑賞や振り返りができ、評価に生かすことができる。 ・ QRコードを通して用具の安全な使い方や作り方などの動画を見たり、教科書に掲載された以外の作品を見ることができたり、分かりやすく構想が広がる工夫がある。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ ページの左上に項目と準備物が、右下に学習活動の流れが表記され見やすい。 ・ 題材で育てたい資質・能力に沿った「学習のめあて」が明示されている。 ・ マーク、キャラクターを上手に使い、親しみやすい。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育成したい資質・能力に沿った「学習のめあて」が明示され、重点となるめあてが強調して分かりやすく示されている。さらに「学習のめあて」と「振り返り」の整合性が整っている。 ・ 教師は指導しやすく児童は分かりやすくイメージを広げやすい題材で構成されている。 	

書名 項目	<h1>図画工作</h1>	1 1 6 日 文
内 容	<p> ＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞ ・題材毎に「学習のめあて」が明示され、身に付けさせたい資質・能力が明確である。 ・巻末資料「材料と用具の引き出し」で、用具の使い方や技法等が写真や図で分かりやすく示されている。 </p> <p> ＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞ ・児童がイメージを広げるために、吹き出しの言葉やつぶやきが効果的に使われている。 ・様々な作品に触れ表現の幅が広がるように、アート・カードを用いた活動が示されている。 </p> <p> ＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞ ・題材名の下に活動内容を具体的に示しふりかえりの枠が設けられ、見通しを持って活動できるようになっている。 ・児童の作品や活動中の写真が多く掲載されており、制作への意欲を喚起している。 </p> <p> ＜表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実するための工夫＞ ・みんなで取り組んでいたり、話し合ったりする写真が多く、コミュニケーションを促す工夫がされている。(対話的な学び) ・外国の友だちの絵、教科書美術館、様々なアート作品の紹介など、児童の興味関心を高めている。 </p> <p> ＜用具の安全な取扱いについて指導するための工夫＞ ・各ページで気を付けなければいけない事が端的に示されている。 ・巻末に道具の安全な使い方が図や言葉で分かりやすく示されている。 </p>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の多様な活動の姿や、児童の作品を大きく紹介し、発想のヒントになっている。 ・用具の使い方など関連ページが示され、活動内容が分かりやすい。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・マークやキャラクターを用いて、親しみやすく、見やすい構成になっている。 ・題材名の色やデザインを効果的に変え、造形意欲を高めている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な題材名や児童作品を多く用いて、児童が作品に対するイメージを膨らませやすく、主体的に活動できるよう工夫されている。 ・学習のめあてやふりかえり、用具の使い方や片付け等が分かりやすく示されていて、児童が学習内容や活動の流れを理解しやすい。 	